

# 農機 トラクター | 生産者の声を反映した低価格モデルを共同購入

## ・低価格モデルの共同購入

生産者の声を反映した仕様のトラクター需要をとりまとめ、メーカーに一括発注することで生産者へ価格メリットを還元

## ・「所有」から「共同利用」への転換

農機シェアリース(大型コンバインの共同利用)の促進

取り組み目標

進捗状況

☑ 農機メーカーに生産者が必要とする機能を備えた低価格モデルのトラクターを開発要求。

☑ **目標台数を全国で1000台(2018~2020年)**とし、生産者から事前申し込みを取りまとめ、**18年6月に入札し購入トラクター(60馬力)を決定=写真。**

→標準的な4社同クラスに比べ、概ね2~3割の生産者購入価格の引き下げを実現！

☑ 作業時期が異なる4人の生産者が1チームとなり、1台のコンバインを共同利用。

18年度は75経営体が利用。購入した場合に比べ2割程度のコスト低減を実現！



# 段ボール

## ・規格集約による価格引き下げ

県を越える広域エリアで輸送用パレット寸法に最適な標準規格を設定し、規格を集約

取り組み目標

進捗状況

☑ 標準パレット寸法等を基準に3品目(タマネギ、サトイモ、ピーマン)の全国標準段ボール箱規格(44規格)を設定。

☑ **106JAが購入意向を示し、年間約300万ケース分の積み上げ**数量をもとに、ブロック・品目別の見積もり合わせをおこない、基本価格条件を決定。

→18年3月から3品目で全国標準規格段ボール箱での出荷を開始

→3品目で約1400あった規格は県域独自の集約と合わせ3割程度削減

■ 全国標準規格段ボール箱(タマネギ、サトイモ、ピーマン)

■ 3品目の規格数



積み上げ数量



3割程度削減

1400 規格